

令和元年台風第19号後の土砂移動の状況について

令和4年7月

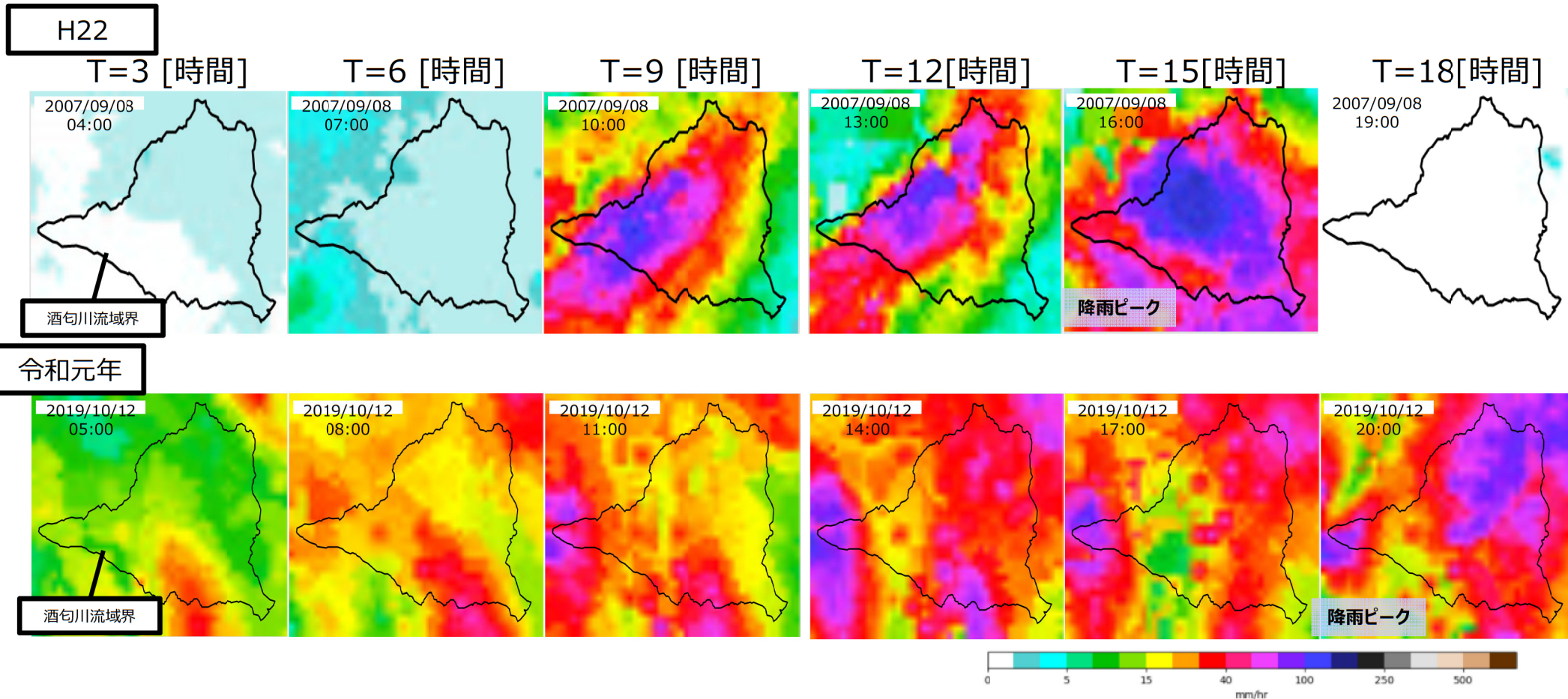
神奈川県県土整備局河川下水道部河港課

令和元年台風第19号と平成22年台風第9号における降雨状況の比較

○ 降雨の状況について

- 平成22年台風第9号では、短い時間で強い降雨が発生した。
- 令和元年台風第19号では、平成22年台風第9号に比べ、時間雨量は少ないが、長い時間にわたって降雨が発生した。

	降雨の状況		河川の水位状況	
	流域平均雨量		最高水位	
	24h雨量 (mm/24h)	時間最大雨量 (mm/h)	河内観測局	松田観測局
令和元年 台風第19号	525.4	55.2	3.36m	2.74m
平成22年 台風第9号	448.6	74	2.69m	2.32m

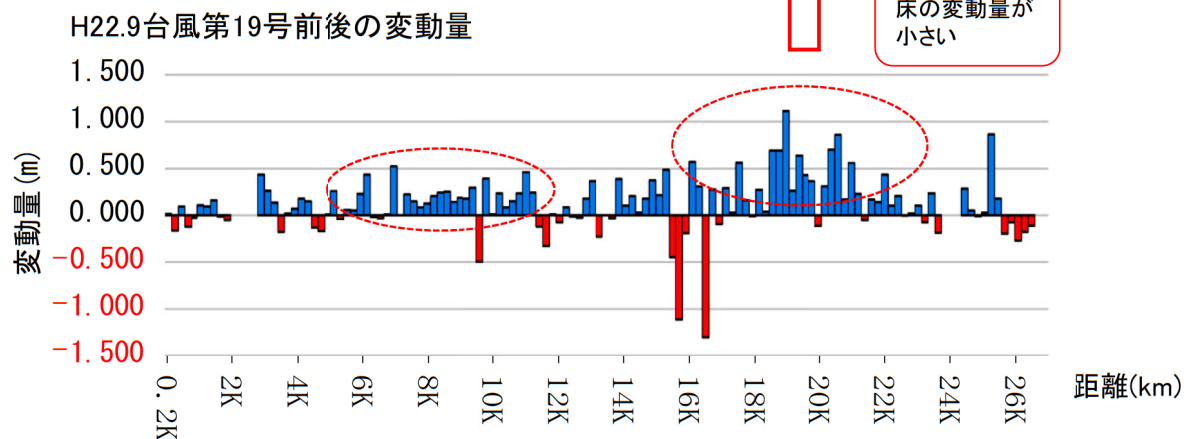
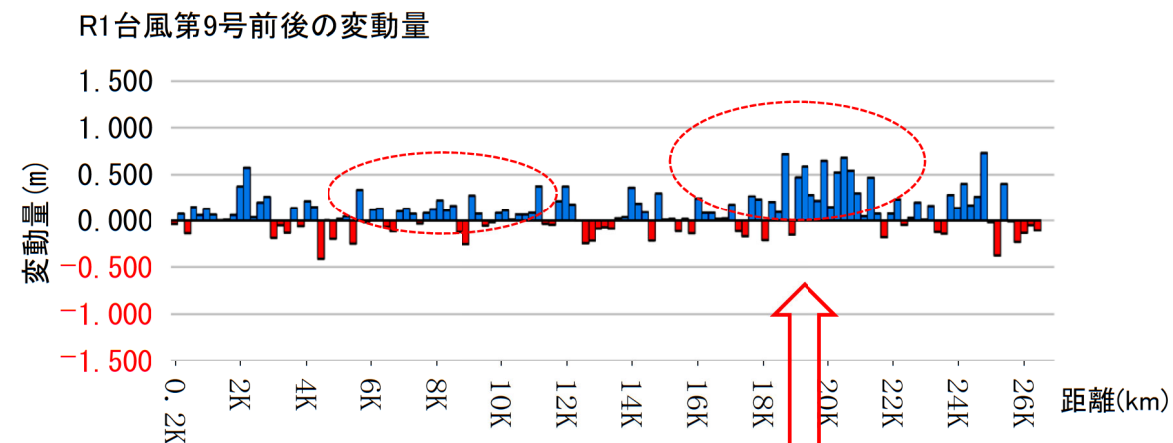


令和元年台風第19号後の土砂移動の状況

○ 河床の変動状況について

- 河床の状況は、令和元年台風第19号においても、平成22年台風第9号と同様に、土砂流出により河道内に土砂が堆積する傾向が見られた。
- 河床の変動量は、平成22年台風9号より小さい傾向が見られた。

河床の変動状況の比較



令和元年台風第19号後の土砂移動の状況

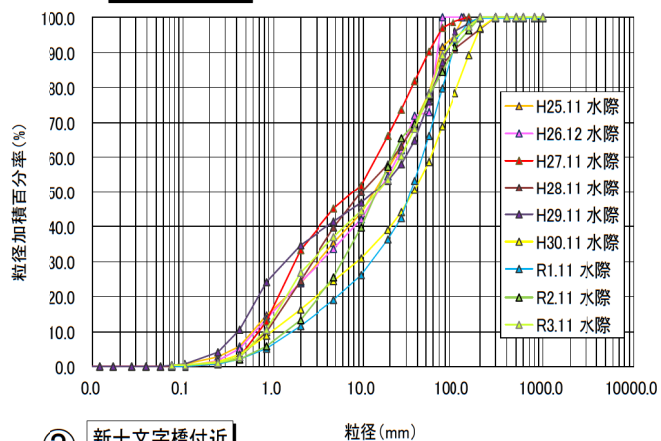
○ 土砂生産域からの粒度分布の状況

- 令和元年台風第19号以降は、細粒化の傾向が見られる。

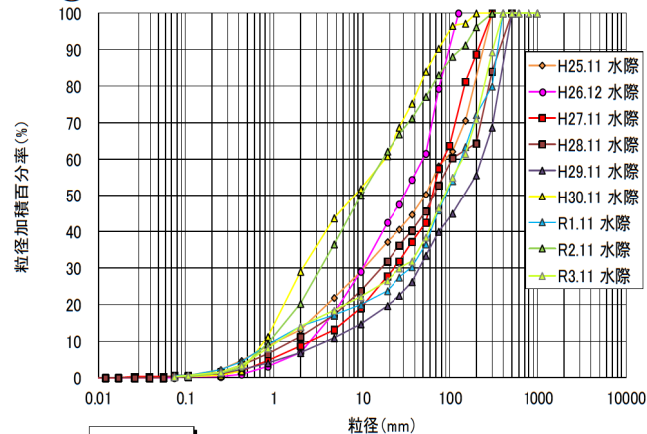


粒度分布の状況

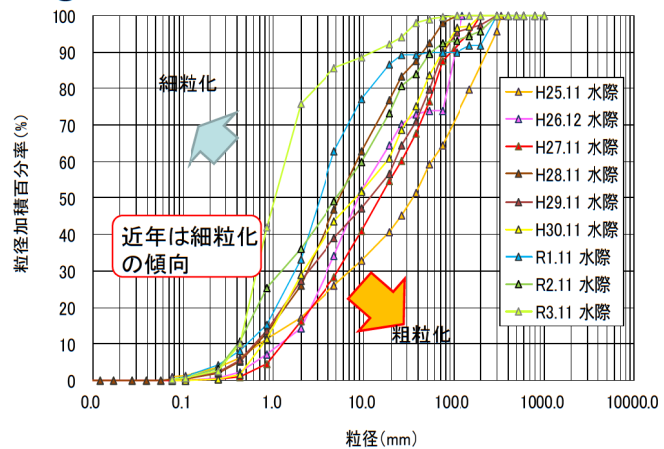
① 報徳橋及び上流



③ 新大口橋下流



② 新十字橋付近



④ 鮎沢川下流

